

令和 6（2024）年度における県内の高齢者虐待の状況について

令和 7（2025）年 12 月 24 日
栃木県保健福祉部高齢対策課

1 趣旨

令和 6（2024）年度中、県及び県内市町において把握された「養介護施設従事者等による高齢者虐待」及び「養護者による高齢者虐待」の状況を公表するもの。
(※「養介護施設従事者等による高齢者虐待」の状況については、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（H18.4.1 施行）」第 25 条により公表が義務付けられている。)

2 調査内容

- (1) 対 象 65 歳以上の高齢者が被虐待者となった事例
- (2) 対象期間 令和 6（2024）年 4 月 1 日から令和 7（2025）年 3 月 31 日まで
- (3) 調査項目 通報件数、被虐待者の状況、虐待の種別、虐待者の状況など

3 調査結果

(1) 養介護施設従事者等による高齢者虐待

	令和 2 年度 (2020)	令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)
相談・通報受理件数	17 件	21 件	44 件	41 件	34 件
虐待を受けたと判断された件数	7 件	6 件	4 件	13 件	14 件
被虐待者数	13 人	5 人	4 人	13 人	14 人

(2) 養護者による高齢者虐待

	令和 2 年度 (2020)	令和 3 年度 (2021)	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)
相談・通報受理件数	443 件	415 件	390 件	402 件	438 件
虐待を受けたと判断された件数	236 件	208 件	125 件	148 件	166 件
被虐待者数	243 人	212 人	127 人	154 人	167 件

〈被虐待者の状況〉

- ① 性 別 … 女性が 81%、男性が 19%となっている。
- ② 年 齢 … 70～79 歳の方が 31%、80～89 歳の方が 50%となっており、70 歳～80 歳代が全体の 81%を占めている。
- ③ 認知症の有無 … 認知症ありの方が 74%となっている。(介護保険認定済みの方のみを対象)
- ④ 要 介 護 度 … 介護保険の認定を受けている方が 76%となっている。

〈虐待の種別〉

「身体的虐待」が48%で最も多く、次いで「心理的虐待」が25%、「介護・世話の放棄・放任」が14%、「経済的虐待」が13%となっている。

〈被虐待者と虐待者との関係〉

「息子」による虐待が44%で最も多く、次いで「夫」が20%、「娘」が19%となっている。

〈相談・通報者の種別〉

「警察」が42%で最も多く、次いで「介護保険事業所職員等」が29%、「家族・親族」が8%となっている。

〈被虐待者と虐待者との同居・別居の状況〉

同居が92%となっている。

〈被虐待者の世帯構成〉

「未婚の子と同一世帯」が37%で最も多く、次いで「夫婦二人世帯」が19%、「配偶者と離別死別した子と同一世帯」が16%となっている。

〈虐待への対応策〉

虐待事例への市町の対応は、「被虐待高齢者の保護として虐待者からの分離」が35%となっており、分離を行った場合の対応内容としては、「契約による介護サービス利用」が53%で最も多く、次いで「やむを得ない事由による措置」が17%、「緊急一時保護」が6%となっている。

また、分離をしていない場合の対応内容は、「養護者に対する助言・指導」が47%で最も多く、「ケアプランの見直し」が18%、「その他」が12%となっている。